

ごあいさつ

みなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここにミニディスクロージャー誌「第110期営業のご報告（平成29年4月1日～平成30年3月31日）」を作成いたしましたので、ご高覧いただきたいと思います。

本誌では、決算概要や業務内容、地域貢献に関する取組状況などをまとめており、当行について一層のご理解を深めていただければ幸いです。

地域金融機関を取り巻く経営環境は、少子化・高齢化の進行や金融機関同士の競争激化により、今後ますます厳しく、また大きく変化していくことが予想されます。

こうした中、当行は、平成29年度からスタートしている第四次経営強化計画において、真の顧客本位の業務運営を目指して、当行が独自に取組んでいる新販路開拓コンサルティング「WIN-WINネット業務」を更に質の高いものとし、本業支援や事業再生支援、創業・新事業支援等に積極的に取組むことで、お取引先とのリレーションを強めるとともに、地域経済活性化に貢献してまいります。

今後とも『地域に密着し、真に地域の発展に役立つ銀行』を目指してまいりますので、みなさまにおかれましては一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



取締役頭取 森 俊英

平成30年7月
取締役頭取 森 俊英

CONTENTS

- 経営理念・長期経営計画・経営強化計画 …… 1～2
- 当行の考え方 …… 3～5
- 中小企業の経営の改善及び
地域の活性化のための取組みの状況 …… 6～9
- 平成30年3月期業績ハイライト(単体) …… 10～12
- 地域とお客様の発展のために …… 13～17
- 組織・ネットワーク …… 18～21
- 資料編 …… 23～64

シンボル・マーク



「南日本銀行」の頭文字「M」をデザイン化したものです。楕円の1つは南日本銀行であり、もう1つは地域を表現しています。

2つの楕円が緊密な結合をし、地域と銀行、お客様と銀行、人と人との密接な関わり、信頼関係、また、銀行内のしっかりした団結をも意味しています。

「M」は変化し、限りなく拡大するイメージを想起させ、互いに寄り添い、シンプルな形状の中にも、銀行の持つ力強さ、未来性が表現されています。

本冊子は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

当行の概要



本店所在地	鹿児島市山下町1番1号
創業	大正2年9月4日
資本金	166億1百万円
店舗数	本支店64カ店 (本支店61、出張所3)
従業員数	925人 (嘱託・パート・出向者含む)
主要勘定(単体)	総資産 7,941億円 預金残高 7,422億円 貸出残高 5,662億円 (平成30年3月末現在)